

2012年度 社団法人神奈川県社会福祉士会 事業報告書

<はじめに>

2012年度は、公益社団法人化へ向けての取り組みが大きな課題でした。今回の公益社団法人化に向けて、県士会としてはこれまで展開してきた本会の事業内容について大きく整理をしてきました。

つまり、公益目的事業として、①権利擁護及び相談事業 ②地域福祉の増進及び福祉サービスの質の向上に関する事業 ③福祉人材育成及び調査研究事業の3分野に整理し、この他の事業を収益や共益事業としました。しかし神奈川県への公益社団法人化申請手続においては、社会福祉士会の業務内容が多岐にわたり、なおかつ日本社会福祉士会との関係も本部と支部体制から、連合体体制への変更もあり、申請書類内容の整備は困難を極めました。しかし、最終的には2013年3月4日の公益認定審議会で認可され、やっとスタート地点に立つことができました。社会福祉士とは、県民とともに歩む福祉専門職であり、県内に於ける社会福祉の増進や、県民の生活の向上、充実に今後とも最大限寄与していく必要があります。公益社団法人化への移行にともないその使命をあらためて強く認識したいと思います。

また、災害援助に関しても、東日本大震災から1年後の2012年4月より、神奈川県から「避難者支援事業見守り隊」の事業を担ってきました。東北被災3県から避難して来られた世帯の訪問と、交流会等の行事を開催してきました。そして、この1年間の活動の中で、専門的な支援が必要な世帯が多く存在することがわかり、2013年度4月から開始の「専門サポートチーム」（事業として本会が受託）へと結びました。引き続き、各支部での協力を得ながら、支援の手を緩めず活動を続けていきます。

本会の県からの委託事業は、昨年度に引き続き「地域生活定着支援事業」「ホームレス等生活困窮者支援事業」と「見守り隊専門サポート事業」の3つとなっており、様々な分野の課題に対して専門的な活動を展開していく必要があります。

本会の既存の活動としての事業は多岐にわたっており、この1年間重点事項の取り組みを中心に権利擁護、第三者評価、実習推進、など多くの実績を残してきました。また、組織向上の取り組みや、研修の充実（生涯研修制度への取り組み）など工夫しながら進めてきました。また公益社団法人化に向けて、新定款の策定、また定款変更に伴う代議員選挙も行い、代議員総会体制への準備も整備しました。この体制の変更に関しては、公益社団法人化準備委員会を中心に移行準備を進め、そして8支部からは支部長はじめ会員の皆様から多大なる協力を頂きました。

2012年度末で社団法人から公益社団法人へと移行し、現在は組織の大きな転換期を迎えています。今後とも公益社団法人を意識した活動を会員の皆さんと共に創り上げていきたいと思っております。

<重点事業への取り組みと成果>

1 公益社団法人への移行

2013年4月1日本会は公益社団法人に移行しました。これに伴い「新公益化準備委員会」は5月25日付で解散し、今後は引き続き組織として総務委員会の中で規定類の見直しや、新しい部局体制等の整理等の議論を継続し、理事会に諮っていきます。

2 生涯研修制度の充実

日本社会福祉士会生涯研修制度の変更に伴い、本会生涯研修センターとしての機能の充実を図ってきました。「認定社会福祉士」制度の周知・普及を行い、会員の研修について充実してきました。

3 虐待対応・自死問題を含めた権利擁護への取り組みの増強

2011年度の虐待対応研修、自殺防止への研修会をさらに充実させ、成年後見のみならず人々の権利擁護を包括的に支援するための取り組みを行ってきました。

4 東日本大震災復興支援の継続と危機管理体制の構築

県からの委託業務である「避難者見守り隊」の活動を行い、訪問や交流会の開催など行ってきました。また「専門的な支援が必要な世帯」をカンファレンスで抽出し次年度の支援につないできました。また、本会における危機管理体制について、規則、マニュアルを整備し、災害等に迅速に対応できる組織づくりの検討を引き続き行ってきました。

<事業実績>

1. 成年後見・権利擁護事業の実施（ばあとなあ神奈川）

2012年度は、ばあとなあ神奈川の運営を、これまでの三小委員会（研修、相談、法人後見）体制から、総務・法人後見・相談・研修・養成・地区の5部門体制に改め、各部門の部門長を副委員長に位置付け、目的と役割に沿って部門毎に取り組んだ。また、部員はこれまで小委員会のいずれかに所属し活動することになっていたが、形骸化していたことから、各部門ごとに募集した部員による活動に変更した。

主な取り組みとして、相談部門では、複雑化し増加する成年後見に関する相談に対応するため、「成年後見相談員養成研修」を昨年の内容をさらに充実させ実施し、相談体制を強化した。研修部門では、司法書士や精神科医等の専門職を講師に招き、後見人等の具体的実務に必要な研修を実施した。総務・法人後見部門では、法人後見業務の適正化と標準化に向け、マニュアル作成に取り組んでいる。地区部門では、地区ブロック活動3年目を迎え、各地区選出の運営委員・コーディネーターを軸に、定例会や成年後見人等候補者推薦の流れが定着し、顔の見える支援体制づくりを推進した。養成部門では、成年後見人養成研修を継続実施し、修了者48名が部員登録に至った。

県内各市町村では、法人後見や市民後見人養成への取り組みが進められ、当会からも委員を派遣した。

(1) 成年後見人等の候補者推薦と受任状況

- ① 家庭裁判所への後見人候補者名簿の提出 2013年3月 現在:413名（内県外支部20名）
 ② 本年度法定後見受任状況 受任中累計599件

	照会件数	【内訳】 現在活動数	閉止	不受理	審判待ち、調整中、申立予定等
2012年度のみ	242	31	21	12	178
本年度末累計件数 (2012年度含む)	1,268	599	380	98	191

ア 類型および障害別・依頼元別受任状況 (2012年度) (242件)

後見類型 障害別	後見	保佐	補助	合計	家庭裁判所	市町村	
					【内訳】本庁	26	139
認知症	125	22	6	153	9	相談機関	
知的障害	37	15	3	55	川崎支部	6	ばあとなあ相談
精神障害	12	14	3	29	横須賀支部	6	親族
その他	3	2	0	5	相模原支部	3	その他
合計	177	53	12	242	小田原支部	2	合計
					東京家裁	0	242

イ 申立人別照会状況(2011年度) (242件)

本人	親族	後見人	行政 136				その他 家裁職権、他仕業	合計
			市長	区長	町長	村長		
20	82	4	65	64	7	0	0	242

【市町村長申立内訳】(カッコ内が件数)

横浜市(区長64)、川崎市(27)、横須賀市(3)、平塚市(6)、鎌倉市(1)、藤沢市(1)、茅ヶ崎市(5)、相模原市(5)、三浦市(1)、秦野市(2)、厚木市(2)、大和市(5)、綾瀬市(3)、海老名市(2)、座間市(1)、南足柄市(1)、松田町(1)、開成町(4)、大磯町(1)、箱根町(1)

(2) 後見人等候補者及び受任者への支援活動

- ・部員同士の顔の見える関係づくりを目標に、地区ばあとなあ活動の支援を行った。
- ・受任者への相談・スーパーバイズとして、電話や面接により対応した。
- ・部員の資質向上のため、初任者研修・現任者研修を体系的に企画実施した。

(3) 成年後見人養成研修と登録状況

(社)日本社会福祉士会主催による成年後見人養成研修(委託集合研修)を実施した。

成年後見人養成研修(委託集合研修)

- ・日程:2012年7月14日(土)15日(日)、8月25日(土)、9月22日(土)、10月8日(月・祝)、11月3日(土) (全6日間37時間)
- ・主な内容:本部カリキュラムに準ずる。成年後見制度及び関連法・身上監護・財産管理・精神医学の各概論・演習、成年後見人実務演習等。昨年度より、「ばあとなあ部員に必要な事務」という、ばあとなあ神奈川独自の研修日を一日増やしている。
- ・講師:ばあとなあ神奈川部員、家庭裁判所担当者、弁護士、司法書士、精神科医等
- ・運営方法:運営委員会の養成部門を中心に運営・実施

名簿登録状況:

2012年度支部委託研修	受講生	修了生	登録者
	51名	48名	48名

(4) 法人後見

報酬付与の申立については計8件の申立を行った。

法人後見業務執行者の連絡会は7月、9月、11月、2月(全4回)開催した。

法人後見の業務執行の標準化及び統一化を目指して、業務執行者の活動状況報告と帳票や事務手続きの違いを確認した。

業務執行者が家裁で監督を受けるにあたっての記録や入出金の記録様式の統一により、業務監督や業務執行者の円滑な交代も可能にする準備体制の一環とした。また、これらを纏めた「手引き」を作成した。

	後見	保佐	補助	合計
認知症	1	0	0	1
知的障害	5	2	2	9
精神障害	0	0	0	0
合計	6	2	2	10

(5) ばあとなあ神奈川部員全体会の開催

【第1回】

日程:2012年6月23日(土)13:30~16:30・参加者数 89名

講演テーマ:『家庭裁判所における成年後見事件の10年の運用と展望』

講師:坂野 征四郎氏(弁護士、元横浜家庭裁判所判事)

全体会テーマ:ばあとなあ神奈川報告

ばあとなあ神奈川2011年度事業報告

地区ばあとなあ活動状況報告

【第2回】

日程:2013年3月9日(土)13:30~16:30・参加者数 79名

講演テーマ:『障害者虐待防止法と成年後見活動』

講師:千木良 正氏(弁護士、本会会員)

全体会テーマ:ばあとなあ神奈川報告

ばあとなあ神奈川2013年度事業計画・予算について

受任状況(2013年1月末現在)

(6) 成年後見人名簿登録者向け研修等

①部員研修

ア【当事者の体験から精神障害を理解する】

- ・日程:2012年8月4日(土)午後 参加人数 21名
- ・講師:社会福祉法人唐池学園 貴志園 相談センター「ゆいまーる」
ピアサポーター4名及び専門相談員 塩田友紀氏
- ・対象:ばあとなあ名簿登録者

- ・内容：①地域移行・定着支援事業とピアサポーターについて
②ピアサポーターの体験談「支え合う仲間と出会って」

イ【身上監護に意味を問い直す】

- ・日程：2012年12月8日（土）午後 参加人数72名
- ・講師：上山 泰 氏（筑波大学法科大学院教授）
- ・対象：ばあとなあ名簿登録者及び今年度養成研修修了者のうち名簿登録予定者
- ・内容：身上監護における専門職後見人のジレンマ

ウ【財産管理としての不動産処分と活用のポイント】

- ・日程：2013年3月2日（土）午後 ・参加者数51名
- ・講師：〔法律面〕岩屋口 智栄 氏（司法書士 ともえ事務所 代表）
〔実践面〕長谷川 彰 氏（㈱スペースワン 代表取締役）
- ・対象：ばあとなあ神奈川県員及び今年度養成研修修了者のうち名簿登録予定者
- ・内容：① 居住用不動産の考え方と手続きの流れ等 ② 不動産売買等に関する具体的な手順等

（7）成年後見活用講座

- ・開催日：【1日目】2012年12月1日（土） 9：45～16：30 参加者数：77 名
【2日目】2012年12月2日（日） 10：00～16：30 参加者数：68 名
- ・講師：司法書士 船木美香氏 社会福祉士 田中晃氏、鈴木雅人氏、雨宮徹氏、
- ・場所：ウィリング横浜
- ・内 容：【1日目】成年後見制度の概要と後見人の職務（制度の理解・後見人の役割と連携）
【2日目】後見制度を利用するための手続き（申立の流れなど）

（8）成年後見地域啓発事業

- ・事業名：逗子市成年後見制度を知る市民公開セミナー及び成年後見無料相談会
- ・開催日時：平成25年2月9日（土） 10:00 ～ 16:30
- ・場所：逗子文化プラザ市民交流センター 第2・3会議室
一般市民を対象とした無料相談会及び成年後見セミナーを開催した。
- ・参加者 40名

（9）権利擁護に関する電話相談事業

広く県民を対象とした成年後見相談は、ばあとなあ神奈川の設置当初から開始された事業である。当初から週三回の電話相談が中心であったが、申立までの具体的手続等についての相談や面接相談が増加し、2009年には申立相談プロジェクトを設置して社会福祉士としての関わり方を検討し、2011年には相談にあたる会員を対象とした内部研修会を開始した。さらに今年度(2012年)に、法定後見から任意後見さらに後見人活動に対する助言を含む広く成年後見相談としての対応するための、担当副委員長を配置して相談部門として体制を整備した。

今年度の相談員登録会員は31名で、受任経験者が相談プロジェクトやスキルアップ研修に参加している。そのうち電話相談員として活動した会員は19名で平均7.8回の相談活動を行った。またその他の相談員は電話相談からの要請により訪問等による個別相談に対応する活動を行った。

【相談部門会議】

- 12年4月29日 10時 6月以降の電話相談のシフト作り
- 12年11月17日 9時半 今年度の活動状況および来年度の事業計画案について

【申立相談・任意後見検討会】

- 12年7月7日14時 有料相談のあり方や研修等について意見交換
- 12年9月8日14時 申立相談あり方検討
- 12年11月17日13時 任意後見相談・受任に関する検討
- 13年2月1日6時30分成年後見相談員養成研修の打ち合わせ

【2012年度ばあとなあ成年後見相談員養成研修】

- ・日時：2013年2月23日（土）10：00～17：00
- ・場所：神奈川県社会福祉会館4階 第1・2研修室
- ・参加者：21名
- ・内容（講師）

科目1 ばあとなあ神奈川の成年後見相談について（講師：田中晃氏）

科目2 申立にかかわる時の留意点（講師：大埜嵩氏）

科目3 法定後見申立の実務のポイント(講師:中丸一郎氏)

科目4 申立書等作成演習(講師:那須三郎氏)

【電話相談等】(別表を参照のこと)

今年度の相談の状況は電話相談 240 件、来所相談 17 面、出張相談 1 件、文書等 1 件。延べ件数は合計 259 件で、新規相談は 205 件、継続相談は 54 件となっている。親族からの申立手順や任意後見に関する相談、ぱあとなあ会員からの後見人活動に関する相談が継続相談となる比率が高くなっている。

相談者は、親族等(本人・親族・知人)が 52.1%(135 件)、関係機関(行政・包括支援センター等)が 36.3%(94 件)、ぱあとなあ部員 8.5%(22 件)、その他・不明など 8 件と、親族以外の行政や包括、その他の多様な機関が半数を占めている。本人からの相談も 21 件と比較的多く任意後見相談などが主な内容であった。対象者別では、認知症後継者が最も多いが、知的、精神、そして判断能力の低下のない高齢者からの相談も 15%(39 件)と幅広い。

相談の主訴では、申立手順等が最も多く、次いで候補者紹介、任意後見、後見制度全般の相談である。成年後見利用の課題整理を含めた、制度全般にわたる相談内容となっている。

相談員には幅の広い知識と相談スキルの向上が求められるとともに、電話相談を窓口として、候補者紹介、来所相談、出張などによる継続的な相談(有料)への展開するための、相談体制づくりが必要である。

表1 平成24年度	ぱあとなあ神奈川 電話相談件数(月別集計24年4月から25年3月末)										延べ件数		
	親族等			関係機関等							ぱあとなあ部員	その他不明等	合計
	本人	親族	知人	行政	包括・ケアマネ	障害相談支援	社協	病院	高齢施設	障害施設			
4月	1	18		1	6				1			2	29
5月	2	6		1	5			1	1		5		21
6月	5	11		3	5	1		2	1	1	3		32
7月	1	7	1	2	3	1				2	3		20
8月	1	6		1	2			1	1		1	2	15
9月	3	10			4			2	3	0	2		24
10月	1	8			1	3				2	2	1	18
11月	3	7		1	2				2	2	3	1	21
12月	2	10		1	4			1		2			20
1月		10		3	1	1		4				1	20
2月	2	9		5	2	1					2	1	22
3月		11		1	4						1		17
合計	21	113	1	19	39	7	0	11	9	9	22	8	259
		135				94					22	8	

表2	ぱあとなあ神奈川 電話相談件数(対象者別集計24年4月から25年3月末)										延べ件数		
	親族等			関係機関等							ぱあとなあ あ部員	その他 不明等	合計
	本人	親族	知人	行政	包括・ケアマネ	障害相談支援	社協	病院	高齢施設	障害施設			
認知症高齢者	1	44	1	3	16	0		1	5		9	1	81
知的障害者	1	18		4	2	6			1	8	3	2	45
精神障害者	3	33		2	3	1		3	1	1		1	48
高次脳機能障害		4		1									5
高齢者	10	7		1	10			5	1		4	1	39
その他	4	1		2	2			1			2	2	14
不明	2	6		6	6			1	1		4	1	27
合計	21	113	1	19	39	7	0	11	9	9	22	8	259

表3	ぱあとなあ神奈川 電話相談件数(主訴別集計24年4月から25年3月末)										延べ件数		
	親族等			関係機関等							ぱあとなあ あ部員	その他 不明等	合計
	本人	親族	知人	行政	包括・ケアマネ	障害相談支援	社協	病院	高齢施設	障害施設			
制度概要	2	17			4			1		1	1	1	27
申立手順・費用		51	1	3	19	2		4	5	2	2	2	91
報酬費		1											1
候補者紹介		14		14	7	2		4	4	5		2	52
法定後見		1											1
任意後見	11	5			6						5		27
相続・遺産分割	1	1											2
親族関係		1			1								2
福祉制度	1	3											4
後見人業務	2	7				3		1		1	14	1	29
苦情				1	1								2
その他	4	12		1	1			1			0	2	21
不明													0
合計	21	113	1	19	39	7	0	11	9	9	22	8	259

表4	ぱあとなあ神奈川 電話相談件数(地域別集計24年4月から25年3月末)										延べ件数		
	親族等			関係機関等							ぱあとなあ あ部員	その他 不明等	合計
	本人	親族	知人	行政	包括・ケアマネ	障害相談支援	社協	病院	高齢施設	障害施設			
横浜	7	44	1	10	14	1		2	3	3	7	3	95
川崎	2	2		2	3	5			2		1	0	17
相模原	2	4		4	3			6		1		1	21
横須賀・三浦	3	4						1	2		6		16
湘南東	2	11		1	5	1		1				2	23
県央	1	7			6				2		2		18
湘南西		3		1	5					5	1		15
県西		5											5
県内	1	9											10
県外		11											11
不明	3	13		1	3			1			5	2	28
合計	21	113	1	19	39	7	0	11	9	9	22	8	259

【ばあとなあ成年後見相談員（仮称）養成研修】

- ・日程：2013年3月24日（土）午前・午後 参加者数 19名
- ・講師：和田明子氏、大埜嵩氏、小野田潤氏、那須三朗氏、中丸一郎氏
- ・対象：① ばあとなあ部員として後見人等の受任経験が2年以上ある方
② 申立相談員（仮称）として平日・日中活動できる方
③ ばあとなあ電話相談員として活動できる方
- ・内容：申立相談員（仮称）の倫理、申立相談制度の内容、申立実務の説明・演習等

(10) 地区ばあとなあ活動

地区ばあとなあ活動は県内11地区で構成され、成年後見人等候補者推薦や、地区連絡会による部員の交流や情報提供、研修会や他士会との事例検討会など、部員の顔の見える関係作りや地区でのスキルアップを目的におこなってきた。

また、3か月に1回おこなわれる、地区コーディネーター連絡会により、各地区の状況や取り組みの共有をおこない、地区活動の活性化を図ってきた。

【2012年度地区コーディネーター】

横浜北	内山信隆	横浜中	井上康子	横浜西	篠崎美代子
横浜南	菊池雄吉	川崎	武笠太朗	川崎	坂本好和
横・三	赤木道弘	湘南東	小野田潤	湘南西	池永康子
県央	阿藤純子	相模原	渡邊 幸江	西湘	和田明子

(11) 運営委員会活動等

運営委員会は毎月第2木曜日に開催した。

① 運営委員会の開催状況

ア 開催数：13回

イ 主な内容

- ・事業方針、予算、事業計画等の協議・候補者推薦依頼案件の審議
- ・各部門の取組の共有、課題の検討 ・他機関への講師等派遣の検討
- ・クレームに対する対応

② 部門会議（随時開催）

①総務・法人後見部門 ②相談部門 ③研修部門 ④養成部門 ⑤地区部門

(12) 他機関主催研修会・相談会等への講師派遣

①2012年度 神奈川県成年後見制度普及事業（神奈川県・神奈川県社会福祉協議会主催）

研修名	日程	講師（敬称略）
成年後見地域研修会（湘南東部圏域）	10月19日	古畑 英雄
成年後見地域研修会（湘南西部圏域）	12月4日	小知和 竜
成年後見地域研修会（県央圏域）	10月31日	田中 晃
成年後見地域研修会（県西圏域）	11月9日	和田 明子
成年後見地域研修会（横須賀・三浦圏域）	11月29日	佐々 美弥子

②かながわ権利擁護相談センターアドバイザースタッフの派遣

本年度16件派遣依頼があり、ケース検討等の場面に社会福祉士を派遣した。

大和市（3回）、伊勢原市（2回）、海老名市（2回）、平塚市（2回）、葉山町、寒川町、相模原市、南足柄市、大井町、藤沢市、その他

③横浜市成年後見サポートネット(横浜市内各区)

各区の成年後見に関する事例検討会に、社会福祉士延べ18名が弁護士会・司法書士会等と共に出席し助言等に当たった。(敬称略)

鶴見区	古橋良伸	神奈川区	高島さち子	西 区	佐々美弥子
中 区	井上康子	南 区	鈴木雅人	港南区	荒井 薫
保土ヶ谷区	熊谷美江子	旭 区	三山浩子	磯子区	佐々美弥子
金沢区	佐々美弥子	港 北 区	内山信隆	緑 区	須田幸隆
青葉区	鈴木雅人	都 築 区	吉田千代	戸塚区	菊池雄吉
栄 区	榎原みさ子	泉 区	篠崎美代子	瀬谷区	新津眞二

④市民後見人関係研修 (敬称略)

内容	主催	開催日	派遣者 (敬称略)
横浜市市民後見人養成研修	横浜市社会福祉協議会	10月22日	佐々美弥子
		11月9日	
		2月13日	
		2月18日	

⑤その他研修会・相談会等 (敬称略)

内容	主催	開催日	派遣者 (敬称略)
成年後見制度の基礎知識	社会福祉法人横浜市社会福祉協議会 福祉保健研修交流センターウィング横浜	5月18日	佐々美弥子
成年後見制度セミナー	神奈川県	7月13日	鈴木眞理子
成年後見実務研修	NPO 法人税理士による公益活動サポートセンター	7月10日	佐々美弥子
成年後見制度相談会	厚木市	12月13日	田中晃 鈴木眞理子
成年後見制度の概要と実践の中でみられる課題について	花みずき家族会	10月27日	雨宮徹
ふじさわあんしんセンター 成年後見専門相談	藤沢市社会福祉協議会	年3回	長谷川栄子
愛川町社会福祉協議会関係職員向け研修	愛川町社会福祉協議会	11月26日	田中晃
関係機関向け基礎研修	川崎市社会福祉協議会	11月21日	武笠太郎
親族後見人向け基礎研修	川崎市社会福祉協議会	12月4日	坂本好和
みうら市民祭 「成年後見制度無料相談会」	三浦市社会福祉協議会	11月18日	西山元弘 石井美智子
親族後見人のための講習会と相談会 (小田原会場)	かながわ成年後見推進センター	10月16日	和田明子
親族後見人のための講習会と相談会 (横須賀会場)	かながわ成年後見推進センター	10月27日	芦田正博
親族後見人のための講習会と相談会 (藤沢会場)	かながわ成年後見推進センター	1月28日	長谷川栄子
成年後見制度普及啓発シンポジウム	川崎市社会福祉協議会	2月3日	武笠太郎
成年後見制度相談会	川崎市社会福祉協議会	2月3日	坂本好和

(13) 他団体・市町村との連携

①連絡会・検討委員会

(敬称略)

内容	主催	開催回数	派遣者〈敬称略〉
成年後見制度普及確保委員会	神奈川県	2回	佐々美弥子
関係機関連絡会	かながわ成年後見推進センター	2回	佐々美弥子
横浜市生活あんしんセンター 業務監督審査会	横浜市社会福祉協議会	12回	尾亦恒夫
成年後見制度関係機関連絡会	横浜市	1回	佐々美弥子 内山信隆
成年後見制度連絡会	川崎市	2回	武笠太朗 大埜嵩 坂本好和
成年後見制度に関する情報交換会	相模原市	1回	志方洋一 二宮淳
藤沢市権利擁護ネットワーク連絡会準備会	藤沢市	1回	小野田潤 長谷川栄子
藤沢市権利擁護ネットワーク連絡会	藤沢市社会福祉協議会	3回	小野田潤
茅ヶ崎市成年後見支援ネットワーク連絡協議会	茅ヶ崎市	6回	小野田潤 長谷川栄子
権利擁護関係団体情報交換会	大和市社会福祉協議会	1回	田中晃
成年後見受任関係団体情報交換会	三浦市社会福祉協議会	2回	佐々木美保子
鎌倉市成年後見制度連絡会	鎌倉市	4回	佐々木美保子
横須賀市成年後見制度情報交換会	横須賀市	4回	佐々木美保子
成年後見利用支援のあり方検討会	平塚市	5回	古畑英雄
社協法人後見事業立ち上げ準備会	綾瀬市社会福祉協議会	1回	那須三朗
社会福祉法人南足柄社会福祉協議会 法人後見立ち上げ準備検討委員会	南足柄市社会福祉協議会	4回	和田明子

②市民後見関係

内容	主催	派遣者〈敬称略〉
市民後見人養成のあり方検討会	神奈川県社会福祉協議会	田中晃
市民後見推進委委員会	横浜市社会福祉協議会	佐々美弥子
よこすか市民後見人等運営事業推進会議	横須賀市	佐々木美保子

③多職種事例検討会

- ・日程：2012年10月16日（火）18：30～20：30
- ・場所：神奈川県司法書士会館
- ・参加団体：横浜弁護士会・成年後見センター・リーガルサポート神奈川
神奈川県精神保健福祉士会・神奈川県社会福祉士会
- ・内容：福祉関係と法律関係のテーマで、多職種に助言を得たい事例を提出し検討

2. 成年後見活動の適正な執行

<目的>

ばあとなあ神奈川の会員が受任している成年後見人及び監督人としての業務内容の監督、及び本会が受任している法人後見人としての業務内容の監査を実施する目的で、外部委員4名と本会員1名の計5名で構成される成年後見業務監督委員会を設置している。

(1) 業務監督委員会の開催

- ① 第1回（10月4日開催）

本会委員の交代による委嘱報告が行われた後、①今年度からの新しい執行体制と各部門、及び今後の方針について説明、受任状況についての報告。②後見活動定期報告書（2012年2月）について報告。③法人後見についての状況報告。④法人後見運営見直し案についての報告の後、成年後見を行っていく中での、各土業の業務の役割分担と支援という事についての意見交換が行われた。

② 第2回（2月15日開催）

外部委員1名の交代報告の後、①今期の受任状況、及び来期の運営方針についての報告。②後見活動定期報告書（2012年8月）について報告。③法人後見の状況報告の後、社会福祉士としての成年後見に関わる姿勢、報酬付与の問題と権利擁護との関係、後見事務の迅速化と受任時の部員への情報の提供について意見交換が行われた。

3. 福祉サービス第三者評価事業の実施

(1) 福祉サービス第三者評価事業運営委員会の開催

・本会が福祉サービス第三者評価事業を実施するにあたり、運営委員会を定期的で開催し、事業の進捗状況等を確認した。

運営委員長：小泉八重子 運営副委員長：高島さち子 運営委員：大埜嵩、酒井正樹、小倉牧男、勝俣恵子
計8回開催 4/19 6/13 8/23 10/18 11/20 12/20 1/17 2/21

(2) 受審希望事業所への対応

・今年度も、神奈川県社会福祉協議会が開発した手法を引き継ぎ、第三者評価事業の普及と実施に努めた。推進機構の説明会を通して市町村や受審希望事業所を訪問する機会を得て、運営委員が以下の評価項目・手法等を説明した。

1. 社会福祉士会方式 障害・高齢<グレード1> ガイドライン準拠版
2. 神奈川県社会福祉協議会方式 障害・高齢<グレード2>
3. 神奈川県社会福祉協議会方式 保育版
4. 神奈川県社会福祉協議会・推進機構方式 障害グループホーム・ケアホーム

(3) 社会的養護施設への対応（新）

・2012年度より社会的養護施設の福祉サービス第三者評価が義務化されたことに伴い、本会も研修を受講し、新たに全国共通の機関として全社協の認証を得た。

社会的養護関係施設 評価機関 認証第2501-002-01号（平成25年1月取得）

- ・第1回説明会 2012年5月23・24日（全社協灘尾ホール）運営委員等2名参加
- ・2012年度福祉サービス第三者事業にかかる社会的養護関係施設評価調査者養成研修会 9月3日・4日（全社協灘尾ホール）調査リーダー1名 運営委員2名・事務局1名受講

(4) 第三者評価の実施及び公表

・神奈川県社会福祉協議会が開発した評価項目・手法を用いて、評価を行った。

① 第三者評価の実施（5事業所の実施）

・下記について実施した。

<受審事業所>	<使用評価項目・手法>	<訪問調査日>
ハーバー野毛（横浜市）	県社協方式・グループホーム	10月22日
すぎな会 すぎなの郷（厚木市）	本会・障害グレード1	11月7日
すぎな会 愛育寮（厚木市）	〃	11月28日
レジデンシャル常盤台（横浜市）	本会・高齢グレード1	12月12日
多機能型事業所松が丘園（相模原市）	本会・障害グレード1	2013年2月7日

※ 2012年度～2013年度にかけての調査実施施設 三浦しらとり園 2013・3/27（公表は2013年度5月）

② 評価決定委員会の開催

・上記5事業所調査について、評価決定委員会を開催し、評価結果は「かながわ福祉サービス第三者評価推進機構（以下、推進機構）」及び本会ホームページにて公表した。

評価決定委員会委員長 久田則夫氏（日本女子大学教授）

○第1回評価決定委員会 2013年3月4日（月）神奈川県社会福祉会館ミーティングルーム

(5) 研修等の実施

・本会登録の調査員や会員等を対象にして、以下の研修会を開催した。

- 「第三者評価調査員研修会」 12月15日(土) 県社会福祉会館 参加者12名
- ① 調査員の心構えに必要なこと(本会第三者評価事業 調査員リーダー 原田幸子氏)
 - ② 〈保育分野〉の評価項目・手法の理解(本会第三者評価事業 調査員リーダー 守戸修氏)
 - ③ 〈障害・高齢グレード1〉の評価項目・手法の理解
(本会第三者評価事業運営委員 調査員リーダー 大埜 嵩氏)

(6) 関係機関との連携、その他

- ・推進機構主催の「評価機関連絡会」に、運営委員及び事務局が参加した。
- ・推進機構主催の「事業者説明会」(横浜市、藤沢市、相模原市)に、運営委員・事務局が参加し、本会第三者評価事業の説明を行った。
- ・推進機構開催の、障害者グループホーム等の第三者評価の手法に関する調査員養成研修会に本会所属の評価調査員2名が受講した。
- ・第三者評価説明パンフレット〈福祉現場が元気になるお手伝いをします〉を関係機関に広く配布し、また運営委員が事業所訪問や声かけをおこない、受審促進に取り組んだ。

4. 神奈川県地域生活定着支援センター事業の実施 (神奈川県 受託事業)

(1) 運営連絡会議の開催、関係各機関との連絡調整

横浜保護観察所、横浜刑務所、神奈川医療少年院、神奈川県、横浜市等と事業計画の審議や、実施状況の確認、事例検討等の会議を年6回開催したほか、関係機関等との連絡調整を図った。

(2) 対象者支援業務

矯正施設における対象者との面接及び出迎え、連絡調整を行った。コーディネート業務については、本年度の特別調整の開始件数は38人(前年度からの継続9人を含む)、終了件数は25人、支援継続中は13人、一般調整の開始件数は4人(前年度からの継続2人を含む)、終了件数は2人、支援継続中は2人であった。フォローアップ業務については、本年度の開始件数は41人(前年度からの継続5人を含む)、終了件数は21人、支援継続中は20人であった。相談支援業務については、開始件数は53人(前年度からの継続16人を含む)、終了件数は48人、支援継続中は5人であった。

(3) 啓発活動・研修受講等

市町村、関係機関等における講演、説明会の開催を行う一方、地域生活定着促進事業に関わる内容の研修に参加した。

(4) 会議等への参加等、その他業務

全国地域生活定着支援センター協議会主催の各種会議・研修会や、関東甲信越ブロックの研修会、他都道府県のシンポジウムなどに積極的に参加した。

5. 地域包括支援センターについての各種事業の推進

(1) 全体会議の開催

委員会運営の統括、各事業の進捗状況の把握を行うために全体会議を開催した。
計3回開催: 5月23日(水)、8月20日(月)、10月25日(木)

(2) 虐待対応専門職チーム立ち上げに向けた話し合い

高齢者虐待対応専門職チーム立ち上げに向け、横浜弁護士会との今後の方向性を含めた意見交換を実施した。

7月19日(木) 19:00~21:00 社会福祉会館 横浜弁護士会 3名 本会 4名

(3) 高齢者虐待対応現任者標準研修の開催

虐待防止法にもとづく虐待対応機関、協力機関等の現任者が、虐待対応にあたる上での専門的視点、技術を習得し、実践力の向上を図るために、下記の項目を講義・演習を通じて学ぶことを目的に開催した。(本会権利擁護事業ばあとなあ神奈川及びケアマネジメント委員会と共同開催)

- ・虐待防止法の内容と法に定められている市町村の責務
- ・虐待対応における権利擁護の視点
- ・虐待対応の基本的な流れ、虐待対応ソーシャルワークモデルの視点
- ・通報受理、事実確認や緊急性の判断等初動期段階の対応
- ・対応段階における虐待の背景・要因のアセスメントと支援計画を策定するポイント

- ・虐待対応計画の評価と虐待対応機関としての支援の終結について

1 日目 1 月 26 日(土) 9:20~16:50 ウィリング
 2 日目 2 月 2 日(土) 9:30~16:20 ウィリング
 3 日目 2 月 9 日(土) 9:30~16:40 ウィリング

参加者 48 名

12 月 1 日(土) 13:00~15:00 講師打ち合せ 社会福祉会館 出席者 6 名

(4) 高齢者虐待対応現任者標準研修講師研修への派遣

上記研修開催の講師養成のため、日本社会福祉士会で開催している講師研修へ会員を派遣した。

7 月 28 日(土)、7 月 29 日(日) 派遣 1 名

(5) ゲートキーパー養成研修への協力

神奈川県地域自殺対策緊急強化交付金事業助成金を受託し行われた、ゲートキーパー養成研修について開催時の補助と地域包括支援センター職員への呼びかけの協力を行う。

研修実施日 10 月 27 日(土) 初級 協力 3 名

11 月 17 日(土) 中級 協力 2 名

(6) 神奈川県介護支援専門員協会地域連携事業への協力

地域連携委員会 地域包括部会への参加

全 8 回：5 月 31 日(木)、7 月 26 日(木)、9 月 28 日(金)、10 月 18 日(木)、11 月 28 日(水)、
 12 月 27 日(木)、2 月 25 日(月)、3 月 12 日(火)

地域包括連携会議への参加

第 1 回：10 月 18 日(木) 第 2 回：3 月 12 日(火)

(7) 地域包括支援センター社会福祉士相当職員実態調査の実施

調査実施時期：平成 25 年 2 月 実施形態：郵送調査

対象：県内の全地域包括支援センター 304 ヶ所の社会福祉士相当職員

内容：2006 年と 2008 年に実施した調査を一部改変し、地域包括支援センター内での社会福祉士の実務の現状について

調査結果：現在集計中 平成 25 年度に分析実施

6. 社会福祉士研修会の実施

新生涯研修制度の初年度として、新基礎研修Ⅰを開講した。認定社会福祉士への第一歩として会員の関心も高く、160 名の定員に対しキャンセル待ちを希望される方も多くいた。

また、認定社会福祉士制度や体系化された研修を会員に提供していくことを目的に立ち上げた生涯研修センターの周知に努め、さまざまな分野で活動する社会福祉士にとって必要な能力を身につけるための研修を企画した。各委員会や部会、支部、自主活動グループ等との連携を意識しながら、面接技術、倫理綱領、スーパービジョン、共通基盤研修、実践発表大会、障害者虐待をテーマにした学習会等の研修会を開催した。

次年度は、新たに基礎研修Ⅱを開講し、新生涯研修制度や認定社会福祉士制度のさらなる周知に努めていく。さらに、日本社会福祉士会が準備を進めているスーパービジョン体制の構築や基礎研修Ⅲの開講といった動向にも注目しながら、県士会としての準備を進めていく。

<主な活動内容>

- ・年間を通して、下記の研修を企画・運営した。

- ・研修の企画・運営のため研修委員会を開催した。

研修委員会：4 月 27 日・6 月 9 日・9 月 22 日・11 月 17 日・3 月 10 日開催

- ・さまざまな分野で活動する社会福祉士に必要な共通基盤 6 領域について研修を開催する準備を行った。

共通基盤研修実行委員会：6 月 10 日・10 月 20 日開催

<研修内容>

研修名・会場	日程・参加者	内容・講師
社会福祉の専門職とは何か。「社会福祉士の倫理綱領、行動規範を通して考える」	6 月 17 日(日) 参加者:16 名	日本社会福祉士会が 2005 年度に採択した「社会福祉士の倫理綱領」及び「社会福祉士の行動規範」を用いた研修を企画・実施した。受講者には事前課題提出の上、当日はその内容をもとにグループワークを行った。グループワークには実践ソーシャ

(ウィリング横浜)		ルワーク塾にファシリテーター協力要請し、受講者の学習理解を深める工夫を行った。 講師:菊池健志氏(神奈川県保健福祉局)
基礎研修Ⅰ (ウィリング横浜・横浜市消費生活センター)	集合研修Ⅰ 7月7日(土) 11月11日(日) 集合研修Ⅱ 12月1日(土) 3月2日(土) 受講申込者 160名 研修修了者 115名	日本社会福祉士会からの委託研修として開催 <事前課題> 「社会福祉士として大切にしたいこと」 「研修に対しての期待」 <集合研修1> 社会福祉士のあゆみ 日本社会福祉士会・神奈川県社会福祉士会の組織 生涯研修制度について 社会福祉士としての専門性について考える <中間課題> 社会福祉士共通基盤の理解 倫理綱領・行動規範の理解 所属組織のソーシャルワーク実践について学ぶ 他領域のソーシャルワーク実践について学ぶ <集合研修2> 社会福祉士共通基盤の理解 倫理綱領・行動規範の理解 社会福祉士の倫理綱領の適用 研修リーダー:坂口律江氏、柳田かおり氏、吉田勝利氏 協力:実践ソーシャルワーク塾 神奈川県社会福祉士会会長、事務局長、支部長他
障害者虐待防止法から虐待について考える 「障害福祉の現場で何がおこっているのか」 (ウィリング横浜)	10月14日(日) 参加者46名	平成24年10月に施行された障害者虐待防止法を取り上げ、法律の目的や内容について知るとともに、現場で活躍している方の声から障害者虐待について再考した。 講演1:障害者虐待防止法について 講師:古畑英雄氏(神奈川県社会福祉士会) 講演2:現場からの声として事例を交えて実践報告 報告:横浜共生会地域活動ホーム ガッツビーと西
援助論と面接技術 (ウィリング横浜)	2月3日(日) 参加者:49名	あらゆる生活課題に直面している個人や家族に対して行う個別援助は専門職としての援助論に基づいているだろうか。援助とは何か…その目的と援助論に基づく個別援助技術について講義と演習を通して学んだ。 講師:原田直美氏(東京医療保健大学 保健師・カウンセラー)
スーパービジョンとは何かー現場で実践することを目指すー (ウィリング横浜)	12月16日(日) 参加者:18名	スーパービジョンの知識と技術を身につけ、援助者としての質や専門性の向上を目指し、現場で実践できることを目標とした。 講師:堀越由紀子氏(東海大学健康科学部 教授)
共通基盤研修 (ウィリング横浜)	11月23日(金・祝) 参加者:50名 11月24日(土) 参加者:51名	「社会福祉士がとらえる相談援助」 講師:西川ハンナ氏(西武文理大学准教授) 「社会福祉士がとらえる地域支援」 講師:宮脇文恵氏(日本地域福祉研究所) 「社会福祉士がとらえる福祉経営」 講師:東海林崇氏(浜銀総合研究所) 「社会福祉士がとらえる生活構造」 講師:萬歳英美子氏(ルーテル学院大学研究員) 「社会福祉士がとらえる権利擁護」 講師:高山直樹氏(東洋大学教授)

		「社会福祉士がとらえる実践研究」 講師：竹之内章代氏（東海大学専任講師）
実践発表大会 （ウィリング横浜）	2月23日（土） 参加者：22名	基調講演：「いま、私たちにできること」 講師：神奈川県社会福祉士会会長 山下康氏 ＜演題発表＞ 「保育園の実情から考える必要な支援」 「神奈川県教育委員会におけるスクールソーシャルワーカー 事業の実践活動報告」 「社会福祉士の活動を社会に対して表現する」 「高齢女子犯罪者の支援について」 「東日本大震災孤児と親族里親制度の現状と課題について」

7. 社会福祉士実習推進委員会

<概況>

2008年度に立ち上げた委員会は、高齢者・障害者・児童・生活保護・社協・医療などの各分野の委員と社会福祉士養成校協会と行政のオブザーバーにより構成され、県内の社会福祉士の実習の推進や実習指導者の養成の課題について情報交換、検討しながら、ネットワーク作りを進めている。

2012（平成24）年度は会長・理事の改選及び委員会も任期改選の年にあたるため、第1回実習推進委員会の際には、委員の委嘱と委員長・副委員長の選出を行った。

実習指導者講習会に関して、23年度までは（社）日本社会福祉士会が厚生労働省からの委託実施であったが、2012（平成24）年度より本会が実施法人として届出を行い、日本社会福祉士会ガイドラインによる講習会を実施した（定員100名 受講106名）。

また、実習指導者講習会を修了した社会福祉士が、講習会で学んだ内容を現場で活用できる「実践力」を身につけるとともに、実習指導者相互の情報交換やネットワーク作りの場を提供するため、2009（平成21）年度から開催している、フォローアップ研修を実施した。

(1) 実習指導者講習会の広報

- ・ワークショップ開催について講習会受講修了者へ案内（5月）
- ・会員向け広報で実習指導者講習会開催要項配布（7月）
- ・県内社会福祉士養成校へ開催要項配布（7月）：船水オブザーバーの協力で県内担当者宛送付
- ・横浜市社会福祉協議会障害・高齢・児童福祉部会で配布（7月～8月）
- ・川崎市高齢・児童・乳児・母子福祉部会で配布（7月）
- ・神奈川県社会福祉協議会福祉タイムズに記事掲載（8月）
- ・フォローアップ研修会開催について講習会受講修了者へ通知
- ・会員向け広報、HPで案内掲載（7月）

(2) フォローアップ研修

- ・実習プログラミング ワークショップ

日程：6月16日（土）・7月21日（土） 参加者数：15名

対象：実習指導者講習会を修了した社会福祉士

内容：現場の実習プログラムを検証しよう—ソーシャルワークを伝えるプログラム作り—

- ・実践報告会

日程：11月24日（土）参加者数：13名

対象：実習指導者講習会修了した社会福祉士、社会福祉士養成校教員

内容：

- ①現場の実習プログラムを検証しよう

ワークショップ報告 一色茂雄氏（こだなか地域包括支援センター）

- ②現場と社会福祉士養成校の連携協働

実践報告者（社）日本社会福祉士養成校協会 関東甲信越ブロック運営委員長 船水浩行氏（東海大学准教授）、田原雄二氏（障害者総合福祉施設アガペセンター）、佐川博之氏（大和市社会

福祉協議会)

(3) 実習指導者講習会の開催

- ・日程:12月23日(日)～24日(月祝) 修了者数:106名(定員100名、申込者136名、受講決定者116名)
- ・対象:講習会ガイドラインに準じて、現に実習指導をしている人、指導予定で資格登録古い順の方
- ・内容及び講師 実習指導概論講義:菊池健志氏 実習マネジメント論講義:佐川博之氏
実習プログラミング論講義:石渕真理氏
実習スーパービジョン論講義・演習:成田すみれ氏、逢沢祥子氏

(4) 推進委員会活動等

①推進委員会の開催状況(委員長 西原留美子・副委員長尾形淳子)

- ・開催数:年2回(6/11・11/5)
- ・主な内容
第1回・委員委嘱、委員長・副委員長選出・2011年度事業報告(実習指導者講習会、フォローアップ研修報告等)・2012年度事業計画(実習指導者講習会の開催と広報活動・フォローアップ研修の実施について等)
- 第2回・2012年度事業の進捗状況・2013年度事業計画案等

②打ち合わせ:開催数:年5回

8. 介護保険対策事業の実施

(1) ケアマネジメント委員会の開催

介護保険対策事業を実施するにあたり、ケアマネジメント委員会を定期的に開催し、事業の進捗状況等を確認した。計3回開催 5/24 8/2 11/7

(2) 介護支援専門員準備講座の実施

①介護支援専門員試験受験講座

県央

- ・8月18日(土)9:30～16:30 海老名総合福祉会館 参加者:33名
講師:石橋正道「介護保険制度論」
- ・8月19日(日)9:30～16:30 海老名総合福祉会館 参加者:29名
講師:小泉昇「ケアマネジメント、居宅介護支援、介護予防支援等」、
佐久間志保子「高齢者保険医療の基礎知識、受験のポイント」

横浜

- ・9月1日(土)9:30～16:30 ウィリング横浜 参加者:60名
講師:小泉昇「介護保険制度論」
- ・9月2日(日)9:30～16:30 ウィリング横浜 参加者:57名
講師:小嶋哲彦・梅田滋「ケアマネジメント、居宅介護支援、介護予防支援等」、
佐久間志保子「高齢者保険医療の基礎知識、受験のポイント」

②介護支援専門員試験直前講座

- ・10月6日(土)10:00～16:30 ウィリング横浜 参加者:78名
講師:小嶋哲彦・小泉昇「介護保険制度論」「居宅支援サービス」「介護サービス分野について」

(3) 介護支援専門員受講資格試験模擬試験問題の作成、頒布

介護支援専門員受講資格試験模擬試験問題を本会にて作成し、都道府県社会福祉士会及び団体等合わせて18団体に1114部(神奈川分を含む)を提供し、本会の収益事業にも大きく貢献した。問題作成委員16名

新井仁子、石井千麻、石橋正道、梅田滋、大竹一史、金井守、小泉昇、小嶋哲彦、齊藤学、佐久間志保子、菅原聡、鈴木明、瀬戸知樹、成田すみれ、山影彰大、八巻環

(4) 介護支援専門員実務研修受講試験模擬試験の実施

- ・9月22日(土)9:45～16:30 ウィリング横浜 参加者:70名
模試問題の解説 石井千麻、金井守、佐久間志保子

9. 社会福祉士国家資格の取得支援の推進

対策講座や、大学での対策講座を行うとともに、全国統一模擬試験を実施し、資格取得を支援した。また、講座の質の向上を図るため、講座実施毎に講座内容に関するアンケート調査を行った。

(1) 社会福祉士国家試験受験対策講座

- ・日程：全6日間（9/17(月)、9/22(土)、9/30(日)、10/6(土)、10/7(日)、10/14(日)
- ・場所：ウィリング横浜・受講者数73名

(2) 社会福祉士国家試験模擬試験

- ・日程：10月27日(土) 10:00～15:35
- ・場所：ウィリング横浜・受験申込者数255名

(3) 大学の国家試験対策講座への講師派遣

関東学院大学は、大学の事情により未開催。(計4大学)
受講者数・講座開講日数(模試含む)・講師派遣延べ人数

	科目数	受講者数	日数	講師派遣延べ人数
東海大学	19	30	5	19
東洋英和女学院大学	19	43	11	19
日本女子大学	19	10	8	19
明治学院大学	19	104	7	19

(4) 講師会の開催

今年度は2回開催した。

6月8日(金)、6月16日(土) 県社会福祉会館 会議室

対策講座受講者の合格率向上に向けてのテキスト作成・講座の持ち方について検討した。

(5) 社会福祉士国家試験 直前対策講座

日程：1月14日(月) 1講義60分 教科(苦手とされる科目を中心に)とガイダンス

※当日は、大雪の影響による交通機関の乱れから、2科目を残し終了した。

場所：神奈川県社会福祉会館・受講者：83名

(6) 合格者把握対策

合格発表時に氏名が公表されないことから、本会が開催した受験対策講座の受講生・模擬試験受験者・直前講座受講生等に受験番号をあらかじめ本会に通知していただき、合格把握後に入会の案内送付を行った。番号通知を依頼した295名の内97名から回答があり、35名の合格を確認した。

(7) 社会福祉士養成課程の見直しに伴う対策

2009年度から社会福祉士養成課程の教育の見直しと国家試験のあり方が変わったことに伴い、講座開講の各大学を訪問し担当者と打ち合わせを行い、講座のすすめ方について検討している。

10. 組織率向上

(1) 組織率の向上と会員の参画を促す委員会活動

社会福祉士会への加入率は、ここ数年、全国的にも下降傾向である。本会の組織率は2010年度末22.79%、2011年度末22.32%、2012年度末は21.97%という結果であった。

2006年に設置された組織率向上委員会では、入会促進と退会防止による会員組織率を上げることを目標に各種活動を行っている。特に24年度は、委員の再編成を行い各支部2名ずつ(横浜支部は3名)が委員となり、各支部と県士会の情報の流れの改善を図った。また、研修委員会や資格取得委員会といった他の委員会とも連携協力して活動を行った。

①入会促進の取組み

- ・新規合格者及び未入会者向けに入会促進対策として、初任者向け研修並びに企画の共通基盤研修、実践発表ふらす、ミステリーツアーの受講料・参加費について500円減額する「ウェルカムサービス」を実施した。
- ・合格者祝賀会への参加協力
資格取得委員会主催の4/20合格者懇談会に組織率向上委員と呼びかけに応じた支部長が参加。受験勉強の

苦勞と合格の喜びを分かち合い、出席者に社会福祉士会の活動の場の情報提供を行った。

1名ではあるが、翌週に開催された横浜支部の全体会に祝賀会参加者が出席した。

②初任者向けの取組み

- ・基礎研修Ⅰにおける組織向上委員会の説明。
実績：前期 7/7（土）、後期 11/11（日）
- ・基礎研修Ⅰの受講者及び会員を対象とした懇親会
実績：7/7「七夕懇親会」参加 51名。6チームに分れ、「1億円、社会福祉士のあなたはどよう使う？」セッションを実施。優勝チームにはたまひよクッキーを贈呈。
実績：11/11「ポッキー懇親会」参加 23名。出身地方ごとにテーブルをわけ、テーブルごとにご当地自慢などをした。
- ・初任者向けの実践発表会ぶらす。参加者 13名
実践発表大会や全国大会など会員による実践報告・発表の再現し、会員が職場その他普段の活動で社会福祉士の専門性をどう生かしているかをグループに分れて話し合いを行った。

発表者①：大磯地域包括支援センター 統括管理者 木内 健太郎 氏

「地域包括支援センターにおける他職種連携の意義と社会福祉士の役割」

発表者②：杜の地域生活支援室 係長 小倉 明子 氏

「社会福祉士の仕事 DVD への撮影協力から学んだこと～知的障害者支援の現場から～」

グループディスカッション：「実践を聞いて、仲間と語る」

（ファシリテーター協力：実践ソーシャルワーク研究会）

他の会員の報告を聞き、自身の実践へと引き寄せる機会であると同時に、実践発表大会へのエントリーへの動機付けもねらった。24年度は江の島のかながわ女性センターで後述のミステリーツアーと連動させた企画とした。

実行委員会：①24.9/26 ②24.10/19（ミステリーツアー合同）③25.1/22 ④25.2/2（ふり返り）

- ・初任者の宿泊交流（ミステリーツアー）～真冬の江の島で熱く語ろう～
概ね3年以内の初任者や社会福祉士を目指す養成校学生と3年以上の社会福祉士が職場や普段の生活の場を離れ、同じ専門職種同士の交流を図るもの。24年度は第3回め。
今回は、実践発表ぶらすの終了後、女性センターでの夕食から～翌日の昼までをミステリーツアー企画とした。

日時：2/2（土）～2/3（日） 1泊2日 場所：江の島女性センター

対象：概ね3年以内の新人（会員・非会員）及び社会福祉士養成校学生

実績：13名（実践発表ぶらすからの連続参加は6名）

③組織向上委員会

- ・開催日数：年5回（①6/10 ②8/26 ③11/4 ④1/7 ⑤3/31）
- ・開催場所：横浜市西区社会福祉協議会・藤沢市民活動推進支援センター
- ・検討内容：支部組織向上委員会活動の情報交換、事業の進捗確認・検討、テーマ検討（魅力ある会づくり、入会促進・退会防止）、支部役員連絡会議、他委員会との連携 他

④その他

メーリングリスト「soshiki-kacsw」の活用

24年度活動にあたり、委員会開催案内や出欠確認、各委員担当業務の進捗報告・連絡・相談のためのコミュニケーションツールとして新しくメーリングリストを開設した。また、細かく頻繁な連絡を要するミステリーツアーに関しては専用メーリングリスト「team-mystery-kacsw」を設けた。

「soshiki-kacsw」メーリングリストには全理事、全支部長、事務局のアドレスも登録し、情報の共有、委員会活動の見える化を図った。

11. 支部活動の振興

県士会は8つの支部で構成されています。各支部とも定期的な役員会やぱあとなあ地区ブロック情報交換会、研修会や市民向け啓発活動等活発な事業を展開しています。横浜支部の「たまひよクラブ」や横須賀三浦支部の地域包括情報交換会等新しい取り組みも始まっています。

①横浜支部(支部長：徳田 千春)

○会議等の開催状況

①支部全体会 開催 2012年4月22日 会場：西区福祉保健活動拠点
講師 小嶋己千代氏
テーマ「グループホームモニター制度について」

②支部役員会 開催 計12回 開催月 毎月

③研修会・定例会等 開催 計6回 開催月 6月、8月、10月、12月、1月、3月

○月別事業報告

4月	役員会・総会	10月	役員会
5月	役員会	11月	役員会 研修会「たまひよ研修」
6月	役員会 講師派遣	12月	役員会 研修会「先輩社福士に聞く」
7月	役員会 バーベキュー大会	1月	役員会 コミュニティソーシャルワーク実践講座
8月	役員会 ためになるお金の話	2月	役員会 コミュニティソーシャルワーク実践講座
9月	役員会 研修会「先輩社福士に聞く」	3月	役員会 研修会「たまひよ研修」 コミュニティソーシャルワーク実践講座

②川崎支部(支部長：平山みちる)

○本年度実施の事業概要

1. 法改正などの福祉の動向を把握し、学習を行う
2. 互いの職種や職域を通して学びあう
3. 主として市内の社会資源について見学等により理解を深める
4. 種々の工夫を行って加入推進に努める
5. 会員間の交流の場をつくり業務や学びの一助とする

○会議等の開催状況・月別状況

①支部全体会 開催 2012年4月24日 15名参加 会場：川崎市総合自治会館
講師 山崎智美氏
テーマ「新生涯研修制度について」 山崎智美氏

②支部役員会 開催 計4回 開催月 4月、7月、10月、1月

③研修会・定例会 定例会 開催 計3回 開催月 7月、10月、1月

ぱあとなあ 開催 計6回 開催月 5月、7月、9月、11月、1月、3月

④会員への呼びかけ実績 人数 320人 回数 4回 呼びかけ月 6月、9月、12月、3月

○月別事業報告

4月	総会・研修会	10月	役員会
4月	役員会		例会「生活保護制度の現状と課題」 右田佳子氏
5月	ぱあとなあ活動者の集い	11月	ぱあとなあ活動者の集い

7月	役員会 ぱあとなあ活動者の集い 例会「先輩社会福祉士に聞く」菅野清氏	1月	役員会 ぱあとなあ活動者の集い 例会「先輩社会福祉士に聞く」雨宮徹氏 研修「障害者虐待防止法の内容と事例」
9月	ぱあとなあ活動者の集い	3月	ぱあとなあ活動者の集い

③横須賀三浦支部（支部長：齊藤学）

○本年度実施の事業概要

1. 「地域に根ざす専門職」というテーマで定例会を開催
2. 支部総会
3. 車座集会
4. ソーシャルワーク研修会

○会議等の開催状況

- ①支部全体会 開催 2012年5月20日 20名参加 会場：横須賀市生涯学習センター
テーマ「社会福祉実践を通して専門性を高めるためには」
- ②支部役員会・定例会 開催 計9回 開催月 4月、5月、6月、7月、9月、11月、12月、
2月、3月
- ③会員への呼びかけ実績 開催 計5回 呼びかけ月 4月、5月、6月、11月、2月

○月別事業報告

4月	支部役員会 第二回地域包括情報交換会 10名	11月	支部役員会
5月	支部総会及び講演会 「社会福祉実践を通して専門性を高めるためには」 講師：実践ソーシャルワーク研究会講師 菊池健志氏	12月	精神保健福祉士会合同研修 「発達障害」講師：川崎医療福祉大学 医療 福祉学部医療福祉学科 准教授諏訪利明氏 参加者40名
6月	支部役員会 横須賀市社協ふれあいフェスティバル参加	1月	先輩社会福祉士に聞く 深津俊江氏
7月	定例会：「地域包括ケアとは？」 講師：神奈川県保健福祉局 福祉・次世代 育成部 高齢福祉課課長 小島誉寿氏	2月	支部役員会 逗子地域 成年後見啓発セミナー・相談会 講師：神田織音氏、千木良正氏
9月	支部役員会	3月	車座集会 テーマ「社会福祉実践を通して専門性を高めよう」参加者8名

④湘南東支部（支部長：小野田潤）

○本年度実施の事業概要

1. 支部総会
2. 研修会・施設見学会・公開講座・相談会参加・ぱあとなあ地区ブロック情報交換会
3. 支部会員定例会
4. 広報活動
5. 隣接士業との連携

○会議等の開催状況

- ①支部全大会 開催 2012年4月14日 22名参加 会場：藤沢市労働会館
講師 山下 康氏、東谷 隆介氏
テーマ「東日本大震災・これからの被災地支援を考える」
- ②支部役員定例会 開催 計6回 開催月 5月、7月、9月、11月、1月、3月
- ③研修会等 研修他 開催 計6回 開催月 8月、9月、10月、1月

ばあとなあ 開催 計6回 開催月 5月、7月、9月、11月、1月、3月
 ④会員への呼びかけ実績 開催 計6回

○月別事業報告

4月 4月	支部総会・記念講演	10月	六士業合同無料相談会 相談員派遣 寒川町ふれあいフェスティバル参加 見守り隊活動協
5月	支部会員定例会 ばあとなあ情報交換会	11月	支部会員定例会 ばあとなあ情報交換会
7月	支部会員定例会 ばあとなあ情報交換会	1月	支部会員定例会 公開講座「パーソナル・サポート・サービス～社会的排除への取り組みを聞く」 講師：鈴木晶子氏 参加者：32名 ばあとなあ情報交換会
8月	施設見学会(特養「ゆるり」、生活介護「おーらい」、保育園・児童発達センター「うーたん」)	2月	
9月	参加者：29名 支部会員定例会 新人研修「先輩社会福祉士に聞く」 講師：田中幸治氏 参加者：28名 ばあとなあ情報交換会	3月	支部会員定例会

⑤湘南西支部(支部長：伊藤 倫博)

○本年度実施の事業概要

1. 会員の資質向上
2. 市民向け講座の開催
3. 組織基盤の確立及び会員拡大

○会議等の開催状況

①支部全体会 開催 2012年5月19日 42名参加 会場：ひらつか市民活動センター
 講師：和洋女子大学家政学群 坂本洋一氏
 テーマ：「新しい障害福祉政策を目指して」

②研修会・定例会等 開催 計11回 開催月 4月、6月、7月、8月、9月、10月、11月、12月、1月、2月、3月

③会員への呼びかけ実績 人数 約40～60人 回数：3回 呼びかけ月 7月、12月、2月

○月別事業報告

4月	定例会 総会準備(印刷・発送作業)	10月	成年後見セミナーのリハーサル 10月定例会
5月	全大会 市民公開講座	11月	二宮町地区社協祭り参加 定例会 なるほど講座「夫婦協同で子育てを楽しく」
6月	施設見学会 児童養護施設「心泉学園」 定例会 平塚市男女共同参画パネル展示	12月	定例会 施設見学会 国立病院機構久里浜アルコール症センター 先輩社会福祉士に聞く
7月	定例会	1月	定例会
8月	定例会	2月	定例会 実践発表大会参加
9月	定例会	3月	定例会

	先輩社会福祉士に聞く		
--	------------	--	--

⑥県央支部(支部長：山本容子)

○本年度実施の事業概要

1. 会員の交流(連帯感の熟成)
2. 会員の研鑽(専門性の向上)
3. 地域へ顔の見える社会福祉士の実現

○会議等の開催状況

①支部全体会 開催 2012年5月19日 39名参加 会場：海老名市総合福祉会館
講師 菅野 清氏
テーマ「生活保護の現場から見た家族の背景」

②支部役員会 開催 計11回 開催月 1月を除く毎月

③研修会・定例会等 開催 計12回 開催月 毎月

○月別事業報告

4月	定例会	10月	定例会 研修会・一日施設見学会
5月	定例会 総会・講演会・交流会 座間相談会	11月	定例会 宿泊交流会 座間相談会
6月	定例会	12月	定例会
7月	定例会 座間相談会	1月	定例会 座間相談会
8月	定例会 座間福祉フェスティバル	2月	定例会
9月	定例会 愛川町ふれあい広場 座間相談会	3月	定例会 座間相談会

⑦相模原支部(支部長：小針淳一)

○本年度実施の事業概要

1. 研修事業の実施
2. 幹事会(定例会)の開催
3. 成年後見人等受任者情報交換会の実施
4. 成年後見制度市民公開講座への協力
5. 相模原市介護認定審査会、障害程度区分審査会への審査委員の推薦

○会議等の開催状況

①支部全体会 開催 2012年4月21日 23名参加 会場：相模原市環境情報センター
講師 小泉 昇氏(支部幹事)
テーマ「シェルターやどりぎ」の1年を振り返って

②支部役員会・定例会 開催 計11回 開催月 2月を除く毎月

③会員への呼びかけ実績 回数2回 呼びかけ月 4月、12月

④相模原市をはじめ、弁護士会、司法書士会、行政書士会、税理士会、社会福祉協議会と共に成年後見制度市民公開講座へ参加・協力

⑤相模原市介護認定審査会への会員推薦 11名
相模原市障害程度区分審査会への会員推薦 6名
相模原市釈迦福祉協議会 一般会員への加入

○月別事業報告

4月	全大会 定例会 成年後見人等受任者情報交換会	10月	定例会 成年後見人等受任者情報交換会 先輩社会福祉士に聞く 講師：二宮淳氏
----	------------------------------	-----	---

5月	定例会 成年後見人等受任者情報交換会	11月	定例会 成年後見人等受任者情報交換会 市内避難者交流の場「ふれ愛」～潤水都市 さがみはらフェスタ2012～への招待事業への協力
6月	定例会 成年後見人等受任者情報交換会 「働きながら子を育てる～子育てに必要な親の役割」講師：和泉短期大学 櫻井 奈津子氏（サエルさがみはら）	12月	定例会 成年後見人等受任者情報交換会 先輩社会福祉士に聞く 講師：松岡一美氏
7月	定例会 成年後見人等受任者情報交換会	1月	定例会 成年後見人等受任者情報交換会 医療同意について考え、話し合う 講師：岡 村和久氏（東芝林間病院）、斎藤正和氏（相模 原中央病院）
8月	定例会 成年後見人等受任者情報交換会 施設見学会「相模原中央支援学校」	2月	成年後見人等受任者情報交換会
9月	定例会 成年後見人等受任者情報交換会	3月	定例会 成年後見人等受任者情報交換会

⑧西湘支部（支部長：工藤 寛子）

○本年度実施の事業概要

1. 定期的な学習研究活動の実施
2. 支部活動への会員の参加促進
3. 市民向け啓発、協力
4. 県士会との連携強化

○会議等の開催状況

- ①支部全体会 開催 2012年4月21日 40名参加 会場：報徳更生寮
- ②支部役員会 開催 計8回 開催月 5月、7月、9月、11月（2回）、1月、3月
- ③準備会 開催 計2回 開催月 4月（全大会準備）、1月（車座集会準備）
- ④研修会・定例会等 開催 計7回 開催 各事業前に各担当にて開催

- 会員への呼びかけ実績 150名 回数 5回 呼びかけ月 4月、6月、12月
研修会（3回）・車座集会・全大会について呼びかけ

○月別事業報告

4月	全大会・懇親会	10月	
5月	役員会 会報誌「ブナの樹」発刊	11月	役員会
6月	役員研修会	12月	家族支援研修 会報誌「ブナの樹」発刊 ゆる☆つなサロン
7月	役員会 家族支援研修	1月	役員会
8月	女子会 ゆる☆つなサロン	2月	車座集会
9月	役員会 家族支援研修	3月	役員会 女子会

12. 相談事業の実施

(1) 自殺対策への取り組み

- ・神奈川県地域自殺対策緊急強化交付金事業助成金を受託し、自殺対策への取り組みを県内他団体（弁護士会・医師会・看護協会・司法書士会・自死遺族の会など）と連携した取り組みを行った。
- ①ゲートキーパー養成講座（初級・中級・上級）を開催した。
 - ・初級研修：10月27日（土）ウィリング横浜 受講者33名
講師：神奈川県精神保健福祉センター 所長 桑原 寛氏
北里大学病院 救命救急センター 精神保健福祉士 山田素朋子氏
NPO法人自死遺族支援ネットワーク 代表 山口 和浩氏
 - ・中級研修：11月17日（土）ウィリング横浜 受講者30名
講師：臨床心理士 稲富正治氏・社会福祉士 佐々美弥子氏
 - ・上級研修：3月17日（日）ウィリング横浜 受講者27名
講師：湘南精神保健福祉士事務所 大和藤沢自殺予防ネットワーク代表 長見英知氏
- ②精神科医・弁護士・司法書士・精神保健福祉士・社会福祉士による包括相談会「こころの健康・法律・福祉無料相談会」を開催した。
11月18日（日）ウィリング横浜 相談者4名

(2) 独立型社会福祉士の活動支援

- ・日本社会福祉士会の提供による独立型社会福祉士名簿を管理し本会の登録者を把握した。登録者との情報交換を行い支援のあり方を検討した。

(3) ホームレス自立支援相談事業

- ①厚木市より、ホームレス自立支援巡回相談員の依頼を受け本会から2名の巡回相談員を派遣した。
- ②ホームレス全国調査への協力
 - ・平成25年1月12日、ホームレス全国調査として厚木市へ調査員の推薦を行った。（厚木市8名）
- ③年末年始（12月31日～1月4日）の相談窓口の設置
 - ・やどりぎ近隣で路上生活を送っている方々に対して、年末年始も相談窓口が設置されている旨の案内を行い、日中、相談員2名体制で相談支援を行った。
- ④神奈川県より委託されている「ホームレス等及び生活困窮者支援事業・シェルターやどりぎ」の総合相談支援を側面から支援する為に、やどりぎ事業検討会を行った。（月1回開催）
 - ・日程 5/29 6/26 7/24 8/24 9/28 11/2 12/13 1/25 2/28 3/27
 - ・検討会メンバー やどりぎ職員3名 本多洋実 小堀和宏 大林由美子 瀬戸知樹
山下康 小島操子 事務局菅野
- ⑤生活困窮者への理解を深め、職種を超えた各分野・各機関との連携を図るための研修を行った。
 - ・生活困窮者が犯罪に巻き込まれないために防犯として刑事訴訟法の勉強会を開催した。
日程：平成25年1月25日（土）19:00～21:00 会場：海老名福祉会館
演題：「軽犯罪法・刑事訴訟法の流れ」 講師：警察OB 畠山輝太郎 氏

13. ホームレス等及び生活困窮者支援事業の実施（神奈川県 受託事業）

(1) ホームレス等及び生活困窮者支援事業の実施を行った。

神奈川県より委託の「ホームレス等及び生活困窮者支援事業・シェルター@HOUSE やどりぎ」の運営を、周辺市町村との連携により実施した。

①事業の実施体制(場所と設備)について

名称：シェルター@HOUSE やどりぎ

所在地：神奈川県厚木市 建物：軽量鉄骨造・2階建・各階4戸・合計8戸

内訳：事務室1部屋、食堂、談話室1部屋、居室6部屋

居室設備：1K（6畳洋室、押し入れ、キッチン、浴室、トイレ付）

事務室：机3台、相談用テーブル1台、パソコン、プリンターなど

食堂・談話室（共有スペース）…TV1台、ガスコンロ、食事用テーブル、椅子、洗濯機など

②生活困窮者支援 相談窓口の利用状況について

- ・相談件数：延べ 289 件（うち新規相談件数 103 人）
 - ・新規相談者：139 人
 - ・問い合わせ：近隣の市町村生活保護ケースワーカー、母子DV関係の担当者、医療機関、当事者等
- ③「やどりぎ」利用者に対して、自立に向けての支援を行った。
- ・看護師による健康相談支援 延べ 5 回
 - ・就労準備としてハローワーク利用方法などの支援 延べ 5 回
 - ・防犯・借金などの生活相談支援 延べ 3 回・年金手続きなどの支援 延べ 3 回
 - ・当事者（ピアサポーター）による支援 延べ 1 回

14. 広報活動の推進

(1) 広報誌「社会福祉士かながわ」の発行

① 第 66 号 2012 年 5 月 15 日発行

巻頭言：「会長就任のご挨拶」、2011 年度第 2 回通常総会報告、前会長退任挨拶、新理事紹介、県内避難者支援事業について、地域成果地定着支援センターについて、公益社団法人化について、支部活動への招待状：横浜支部、各支部の活動、福祉サービス第三者評価事業運営委員会より、ぱあとなあ神奈川より、各委員会の活動、実践ソーシャルワーク研究会より、新入会員情報、新入会員寄稿

② 第 67 号 2012 年 7 月 15 日発行

新シリーズ 私たちは何を目指しているのか？その 1：公益法人って何？、2012 年度第 1 回通常総会報告、共生社会施策について、資格取得支援委員会より、ケアマネジメント委員会より、支部活動への招待状：相模原支部、各支部の活動、ぱあとなあ神奈川より、新入会員情報

③ 第 68 号 2012 年 9 月 15 日発行

連載企画：社会福祉士の仕事① 神奈川県内約 1100 世帯の避難者と地域をつなぐかながわ避難者見守り隊、公益法人認定申請の進捗状況について、支部活動への招待状：湘南西支部、各支部の活動、委員会活動、ぱあとなあ神奈川研修部門からの報告、新入会員情報、新入会員寄稿

④ 第 69 号 2012 年 11 月 15 日発行

連載企画：社会福祉士の仕事② @HOUSE やどりぎ、障害者グループホーム等第三者評価を受審して、委員会活動、支部活動への招待状：県央支部、各支部の活動、ぱあとなあ神奈川より、新入会員寄稿、新入会員情報

⑤ 第 70 号 2013 年 1 月 15 日発行

連載企画：社会福祉士の仕事③ 障害者虐待防止法の施行を受けて、支部活動への招待状：横須賀三浦支部、各支部の活動、ぱあとなあ神奈川より、福祉サービス第三者評価事業運営委員会より、委員会活動、新入会員寄稿、新入会員情報

⑥ 第 71 号 2013 年 3 月 15 日発行

2013 年 4 月 1 日公益社団法人移行について、ぱあとなあ神奈川より、福祉サービス第三者評価事業部より、第 21 回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉学会〈岩手大会〉について、4～7 月の予定について、支部活動への招待状：湘南東支部、各支部の活動、実践ソーシャルワーク研究会より、新入会員寄稿、新入会員情報

(2) ホームページの企画・運営

- ・会員専用ホームページを活用し、求人情報、研修案内等随時掲載を行った。月間平均アクセス数 2 万件

(3) 広報委員会の開催

- ・年間 6 回広報委員会を開催し、編集会議・情報交換を行った。（メールによる意見交換等含む）

(4) その他

- ・公益社団法人への移行後の広報活動のあり方を検討し、あらたに広く県民に向けた広報媒体創設のための競技を行った。

15. 県内避難者支援事業（かながわ避難者見守り隊）（神奈川県 受託事業 2012. 4～2013. 3）

2012 年 4 月より、神奈川県より「東日本大震災県内避難者見守り」事業を受託しました。具体的には、県庁情報ステーションの運営と、県民センター15 階に事務所を構え、県内全避難者宅への訪問と県内交流会の

開催等の事業を行ってきました。直接県士会で雇用する職員と、国の緊急雇用創出基金を利用するスタッフとありましたが、総勢一番多い時では30数名のスタッフが活動していました。

この事業は1年という期限が決まっていたのですが、訪問する中で専門的な支援が必要な世帯を抽出し、次年度の専門サポート事業につなげてきました。

16. 組織の運営と整備

(1) 通常総会の開催

① 第1回通常総会の開催

2012年5月26日(土)13:34~16:12 神奈川県社会福祉会館2階ホール

参加者数:1851名(出席者数59名+委任状による出席者数:1792名)会員総数2404名(4月末)

議長:杉山幸雄氏(西湘支部) 田代秀之氏(相模原支部) 議事録署名人:古畑英雄氏(湘南西支部)
田村容子氏(横浜支部)

<議案 報告・審議>以下について承認した。

<審議事項>

第1号議案 2011年度事業報告(案) 第2号議案 2011年度第3次補正予算(案)

第3号議案 2011年度決算報告(案) 第4号議案 2012年度第1次補正予算(案)

第5号議案 公益社団法人神奈川県社会福祉士会定款(案)

第6号議案 公益社団法人神奈川県社会福祉士会各種規則(案)

第7号議案 職員就業規程の改正 第8号議案 相談役の委嘱

② 第2回通常総会の開催

2013年3月23日(土)14:30~17:00 ウィリング横浜5階501~502号室

出席者数:1372名(出席者44名+委任状による出席者1328名) 会員総数2555名(2月末)

議長:一色茂雄氏(横浜支部) 長谷川栄子氏(湘南東支部) 議事録署名人:二藤部義博氏(湘南東支部)
菅野清氏(川崎支部)

<議案 報告・審議>以下について承認した。

<審議事項>

第1号議案 2012年度(社)神奈川県社会福祉士会第2次補正予算(案)

第2号議案 2013年度(社)神奈川県社会福祉士会事業計画(案)

第3号議案 2013年度(社)神奈川県社会福祉士会予算(案)

第4号議案 (社)神奈川県社会福祉士会福祉サービス第三者評価事業運営規程改正(案)

(2) 理事会の開催(理事会は理事総数18名・過半数出席にて会成立)

<第1回理事会>

平成24年4月22日(日) 9:30~12:00 社会福祉会館2階 第2会議室

出席:理事15 書面表決1 監事1 オブザーバー1 事務局1名

議長 山下康 議事録署名人 佐藤雅美 内藤美幸

<議案 審議・報告・協議>以下を行い承認した。

報告事項

①2011年度補正・決算・監事監査等の予定 ②地域生活定着支援センター(神奈川県との契約・職員体制等) ③神奈川県ホームレス等及び生活困窮者支援事業(神奈川県との契約・職員体制等) ④県内避難者支援事業(見守り隊)(神奈川県との契約・職員体制等) ⑤高齢者虐待対応検討交流会(4月14日実施:佐藤理事出席)

審議事項

第1号議案 入退会の審査 第2号議案 2012年度支部活動費申請・自主活動費申請の審査

第3号議案 2012年度成年後見啓発事業セミナー実施地区の候補

第4号議案 本会職員就業規程の改正(5月26日総会議案)

第5号議案 定款改正案と規程改正案(総会議案) 第6号議案 かながわ感動介護大賞実行委員の受

第7号議案 2012ばあとなあ神奈川地区コーディネーター委嘱 第8号議案 総会議事

協議事項

①支部役員連絡会(7月22日)の実施支部と開催時間等 ②2012年度第1回通常総会議事確認と役割分

担等③通常総会終了後の新入会者との歓迎交流会の実施

④2012年度理事会日程⑤理事役割分担・委員会の持ち方の再確認⑥やどりぎ車両リース

<第2回理事会>

平成24年5月26日(土) 9:30~11:00 社会福祉会館2階 第2会議室

出席:理事12、書面表決2、欠席2、監事1、オブザーバー1、事務局1名

議長 山下康 議事録署名人 吉田勝利 山崎智美

<議案 審議・報告・協議>以下を行い承認した。

審議事項

第1号議案 入退会の審査 第2号議案 2012年度支部活動費・自主活動費申請の審査
相模原支部 川崎支部 湘南東支部 西湘支部 *実践ソーシャルワーク研究会

協議事項

①やどりぎ車両リースの件②本部(日本社会福祉士会)代議員の届け出

③日本社会福祉士会総会への意見反映(公益社団法人移行にむけた、定款改正案:改正事項—会員議決権数の変更(1会員1議決権)の議決権数等について代議員への意見反映)

④神奈川県社会福祉協議会委託 介護支援専門員実務研修受講試験受験資格審査員の推薦

報告事項

①各委員会から活動・予定②生活困窮者支援事業やどりぎ:県担当者訪問と挨拶

③県内避難者支援事業近況④受託事業所属職員の名目一覧

⑤2012年度成年後見啓発事業セミナー実施地区の再確認

<総会打ち合わせ事前確認>①総会役割分担について(確認)

<第3回理事会>

平成24年7月22日(日) 10:00~12:10 てくのかわさき4階展示スペース

出席:理事12、書面表決2、欠席2、監事1、オブザーバー1、事務局1名

議長 山下康 議事録署名人 西山元弘 平岡祐二

<議案 審議・報告・協議>以下を行い承認した。

審議事項

第1号議案入退会の審査

協議事項

①役員選考委員会(代議員選挙)②支部役員連絡会進行内容の確認

報告事項

①公益法人認定申請の状況②会計(5月分)状況③各委員会から活動・予定

(前回報告のあとの活動報告・第3回理事会以降の予定)④各委託事業の進捗状況

⑤6月開催日本社会福祉士会全国大会(出席者報告)

⑥6月開催日本社会福祉士会代議員総会(出席者報告)

<第4回理事会>

平成24年9月7日(金) 19:00~20:55 神奈川県社会福祉会館2階第2会議室

出席:理事13、書面評決1、欠席2、監事1、オブザーバー1、事務局1名

議長 山下康 議事録署名人 石橋正道 昆拓也

<議案 審議・報告・協議>以下を行い承認した。

審議事項

第1号議案 入退会の審査 第2号議案 自主活動費の申請

第3号議案 就業規程・非常勤就業規程改正(案)(理事会審議—総会報告事項)

ばあとなあ専門職員のフレックスタイム制に関する細則(理事会決議)

第4号議案 会費規則について選挙管理規則

報告事項

①臨時支部長会議(9月2日開催)

②平成25年度開催20周年記念行事(式典・パーティー・記念誌発行)進捗状況

③会計(6・7月分)状況④各委員会から活動・予定

⑤各委託事業(県内避難者支援事業・生活困窮者支援事業・定着支援センター)の進捗状況

ア. ケアマネ模試・各種講座への申込み・出席状況

イ. 社会福祉士受験対策講座・模試申込み状況 ウ. その他

協議事項

- ①各委員会事業計画・予算作成（委員会への依頼・提出期限等）
- ②役員選考委員会公募結果と今後の動き

<第5回理事会>

平成24年11月10日（土）9:30～12:00神奈川県社会福祉会館2階第2会議室

出席:理事14、書面評決2、監事2、事務局1名

議長 山下 康 議事録署名人 山崎智美 瀬戸知樹

<議案 審議・報告・協議>以下を行い承認した。

報告事項

- ①公益法人認定申請の状況②選挙管理委員会の動き③20周年記念誌発行に向けての準備状況
- ④会計（9月末分）状況*10月6日開催 会計説明会（報告）
- ⑤委託事業・県内避難者支援事業の進捗状況⑥委託事業・生活困窮者支援事業の進捗状況
- ⑦委託事業・定着生活支援センターの進捗状況⑧委託事業・かながわ感動大賞の進捗状況
- ⑨各委員会及び事業部から活動・予定⑩成年後見地域啓発セミナー横三支部進捗状況
- ⑪香典支出⑫社団法人日本社会福祉士会綱紀委員推薦
- ⑬社団法人日本社会福祉士会理事推薦

審議事項

第1号議案入退会の審査 第2号議案就業規程・非常勤就業規程改正（案）

*参考資料 ぱあとなあ専門職員のフレックスタイム制に関する細則雇用契約書様式

第3号議案旅費規程改正（案） 定着支援センター非常勤職員のフレックスタイム制に関する細則

第4号議案広報誌の紙面編集・印刷会社の変更

第5号議案社団法人神奈川県社会福祉士会支部活動費追加申請

協議事項

- ①成年後見地域啓発セミナーの今後の開催方法 ②2012年度第2回支部役員連絡会（12月2日開催）
内容と進め方③2013年度開催の20周年記念行事 基調講演講師
- ④実践発表大会（2月開催）の発表応募状況と対策

<第6回理事会>

平成24年12月2日（日）13時～15時10分神奈川県社会福祉会館2階第2会議室

理事会終了後 支部役員連絡会15時半～17時

出席:理事12、書面表決2、欠席2、相談役1、監事1、オブザーバー1 事務局1

議長 山下 康 議事録署名人 佐藤雅美、内藤美幸

<議案 審議・報告・協議>以下を行い承認した。

審議事項

第1号議案入退会の審査 第2号議案 旅費規程改正（案）と様式

第2号議案ケアマネジメント委員会2013年度事業展開

協議事項

- ①2012年度第2回支部役員連絡会（12月2日開催）議事進行の確認

報告事項

- ①公益法人認定申請の状況②20周年記念誌発行・式典準備進捗状況
- ③会計（10月分）状況④各委員会・事業部からの2013年度事業計画・予算提出状況
- ⑤委託事業・県内避難者支援事業の進捗状況⑥委託事業・生活困窮者支援事業の進捗状況
- ⑦委託事業・定着生活支援センターの進捗状況⑧各委員会及び事業部から活動・予定
- ⑨実践発表大会（2月開催）の発表応募状況

<第7回理事会>

平成25年1月19日（土）9時30分～12時神奈川県社会福祉会館2階第2会議室

出席:理事14、書面表決2、監事1 事務局1名

<議案 審議・報告・協議>以下を行い承認した。

報告事項

- ①公益法人認定申請の状況②委託事業・県内避難者支援事業（3月末日終了）の現況
- ③委託事業・生活困窮者支援事業の進捗状況④委託事業・定着生活支援センターの進捗状況
- ⑤各委員会及び事業部から活動・予定⑥生活支援戦略

審議事項

第1号議案入退会の審査 第2号議案 厚木市ホームレス全国調査協力調査員の推薦
第3号議案法人後見新規受任第4号議案 福祉サービス第三者評価事業運営規程改正(案)・
第三者評価事業委員会設置要綱改正(案)

協議事項

①会計(12月分)状況 ②2013年度委員会予算査定結果
③2013年度事業計画及び重点事業(案)④平成24年度第2回通常総会議事

<第8回理事会>

平成25年2月14日(木)19時~20時55分神奈川県社会福祉会館2階第2会議室

出席:理事12、書面表決4、監事2 オブザーバー1 事務局1名

<議案 審議・報告・協議>以下を行い承認した。

報告事項

①公益申請の進捗状況報告 ②選挙管理委員会一代議員選挙状況
③委託事業・県内避難者支援事業(3月末日終了)の現況④委託事業・生活困窮者支援事業の進捗状況
⑤委託事業・定着生活支援センターの進捗状況⑥各委員会及び事業部から活動・予定
⑦会計(1月分)状況と査定後の修正状況・第2次補正予算案進捗状況
⑧20周年記念準備会の進捗状況

審議事項

第1号議案入退会の審査 第2号議案 2013年度事業計画及び重点事業(案)
第3号議案 2013年度社団法人神奈川県社会福祉士会予算(案)
第4号議案福祉サービス第三者評価事業業務報酬の内規改正(案)について

協議事項

①公益申請にかかる確認事項②平成25年度公益認定後の部局制への移行
③生涯研修センター研修スタッフの支部推薦依頼
④業務監督委員会⑤総務委員会の今後の在り方・構成
⑥総会までのスケジュール確認⑦平成24年度監事監査日程の確認

<第9回理事会>

平成25年3月3日(日)9時30分から12時 ウィリング横浜6階 会議室1

出席:理事13、書面表決3、相談役1 監事1 オブザーバー1 事務局1名

<議案 審議・報告・協議>以下を行い承認した。

報告事項

①公益法人認定申請の状況
②委託事業(県内避難者支援事業・生活困窮者支援事業・定着生活支援センター)の現況
③各委員会及び事業部から活動・予定④20周年記念準備会の進捗状況⑤その他

審議事項

第1号議案 2012年度第2次補正予算(案)
第2号議案 2013年度社団法人神奈川県社会福祉士会事業計画(案)
第3号議案 2013年度社団法人神奈川県社会福祉士会予算(案)

協議事項

①継続協議:業務監督委員会 ②総務委員会の今後の在り方・構成
③総会当日スケジュールと理事役割分担
④総会議長団(案)(3月3日時点出欠状況での検討)

<第10回理事会>

平成25年3月23日(土)10時~12時ウィリング横浜5階501~503

出席:理事13、書面表決3、相談役1 監事1 オブザーバー1 事務局1名

審議事項

第1号議案 入退会 第2号議案 福祉サービス第三者評価事業決定委員会委員の委嘱
第3号議案 平成25年度厚木市ホームレス自立支援相談事業実施に伴う相談員の推薦
第4号議案 横浜弁護士会との連携
第5号議案 東日本大震災避難者専門サポート事業の委託応募
第6号議案 委託事業定着生活支援センターの次年度継続と職員新体制

第7号議案 委託事業生活困窮者支援事業の次年度継続と予算見積書提出

第8号議案 成年後見権利擁護事業部ばあとなあ神奈川運営委員会委員交代に伴う委嘱

第9号議案 成年後見権利擁護事業部ばあとなあ神奈川2013年度地区コーディネーターの委嘱

第10号議案 会員への香典支出 第11号議案 代議員選挙による選出代議員

協議事項

①公益社団法人移行後の理事の役割分担ー継続協議含む：業務監督委員会構成・総務委員会構成

②各支部への公益社団移行に伴う諸説明会の開催③総会当日進行シナリオと理事席、役割分担の確認

④平成25年度理事会開催日程案

報告事項

①公益社団法人移行手続き（登記）等の進捗状況 ②日本社会福祉士会関東ブロック協議会及び代議員総会

(3月16日開催) ③委託事業（県内避難者支援・定着支援・生活困窮）事業精算等の進捗状況

④各委員会及び事業部から活動報告・予定 ⑤20周年記念準備会の進捗状況

＜その他臨時理事会＞

4月28日(日)16時～18時ウィリング12F124 出席 理事10 書面表決6 監事2 事務局1

審議事項：第1号議案 2011年度本会事業報告(案) 第2号議案 2011年度本会第3次補正予算(案)

第3号議案 2011年度本会一般会計及び特別会計決算報告(案) 第4号議案 2012年度本会第1次補正予

算(案) 第5号議案 公益社団法人神奈川県社会福祉士会定款(案)

報告事項：①平成23年度監事監査実施 ②やどりぎ運営打ち合わせ会(4月25日実施)

7月9日(月)19時～20時45分 神奈川県社会福祉会館2階第2会議室 出席理事11 書面表決3 欠席2 監事1 事務局1

会計事務所2名 審議事項：第1号議案 公益社団法人移行申請 第2号議案 支部活動費申請の審査

第3号議案 広報「社会福祉士かながわ」リニューアルの提案

協議事項：①やどりぎ訪問見学報告事項：①やどりぎ車両リース ②役員研修会(7月22日開催)

(3) 20周年記念誌編集、記念式典・祝賀会準備会の開催

2013年7月20日に記念式典及び祝賀会を開催するにあたって、総務委員会が中心となり

また各支部推薦の協力スタッフと共に準備会を開催し、準備を進めた。

また記念誌刊行に向けても、編集をおこなった。歴代の会長等による座談会を3月5日に開催し
内容は記念誌に掲載する。*記念誌は7月20日刊行予定。

準備スタッフ

＜総務委員会＞ 平岡祐二 吉田勝利 古畑英雄 菅野清 高島さち子 石橋正道

＜支部＞ 徳田千春 日向明 田中幸治 田代秀之 及川正文 平田美智子 木暮恒夫

永野正之 樺田好美 遠藤慶子 齊藤学

(4) 正副会長会議、監事監査、支部役員連絡協議会の開催

①正副会長会議

理事会討議事項及び重要案件について会議を行った。

開催日：2012年4月17日 6月29日 7月31日 9月2日 10月17日 11月20日 12月22日

2013年2月6日 3月23日

②監事監査の開催

2011年度決算報告及び事業報告内容について監事による監査を実施した。

実施日：2012年5月23日(事業監査) 5月29日(会計監査)

監事：齊藤学氏(事業担当) 江原伸弘氏(会計担当)

(5) 支部役員連絡会議(理事会及び役員研修会と同日に開催)

①第1回7月22日(日)13時～15時40分「てくのかわさき」4F 展示場内スペース

出席者：会長、副会長、理事：各支部役員、事務局

＜議題＞県士会から支部への報告・連絡等

・生涯研修制度について

・公益法人化準備状況について

・避難者見守り活動から各支部への協力依頼について

※臨時支部長会議

開催日時：9月2日(日)14時～16時 場所：神奈川県社会福祉会館内 2階 第2会議室

出席者：会長、副会長、理事：各支部役員、事務局

・公益移行について

- ・代議員選挙について

②第2回 12月2日(日) 15時30分～17時 神奈川県社会福祉会館 2階 第2会議室

出席者:会長、副会長、理事:各支部役員、事務局

<議題>県士会から支部への報告・連絡等

- ・各支部活動の状況報告及び意見交換

(6) 会員の加入状況 会員数 2,475名、組織率 21.97%(2013年3月末現在)

- ・神奈川の会員:実質145名の増(2012年度末2,347名、昨年度実績128名増)
- ・神奈川県登録者数累計:11,495名(2013年3月末)
- ・神奈川県合格者数累計:11,105名(第1回～第25回まで)
- ・全国合格者数累計:167,943名(第1回～第25回まで)
- ・全国登録者数累計:160,612名(2012年3月末)
- ・全国会員数:35,140名(2013年3月末の組織率23.05%)
- ・社団法人化後の会員加入の推移 ※加入数は退会等を差引いた数字を表す

データは主として日本社会福祉士会統計による

年次	加入(退会・転出)	会員現員数	組織率	全国平均
2001.3末	150(-5)	698	39.39%	(41.78%)
2002.3	161(-8)	859	38.23%	(39.91%)
2003.3	171(-22)	1030	36.54%	(37.18%)
2004.3	163(-33)	1193	34.20%	(34.19%)
2005.3	143(-32)	1336	31.04%	(31.35%)
2006.3	183(-30)	1519	29.71%	(29.65%)
2007.3	156(-54)	1675	28.26%	(28.51%)
2008.3	102(-75)	1777	26.22%	(26.85%)
2009.3	165(-95) ※転出29、退会66	1942	24.95%	(25.66%)
2010.3	115(-107) ※転出26、退会81	2057	23.45%	(24.23%)
2011.3	259(-114) ※転出29、退会85	2202	22.79%	(23.58%)
2012.3	266(-121) ※転出30、退会91	2347	22.32%	(23.05%)
2013.3	252(-124) ※転出26、退会98	2475	21.97%	(22.29%)

(神奈川県合格者内訳)

第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回
24	34	52	70	76	81	97	156	180
第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回
201	325	390	445	532	675	725	793	779
第19回	第20回	第21回	第22回	第23回	第24回	第25回		
803	897	920	804	782	710	554		

支部別会員数(2010年3月末)

支部名	人数	%	支部名	人数	%
横浜	882	38%	県央	248	10%
川崎	300	13%	相模原	174	7%
横・三	230	10%	西湘	139	6%
湘南東	193	8%	総合計	2347	100%
湘南西	181	8%			

17. 他団体との連携

(1) 日本社会福祉士会等の委員等の推薦と参加

【日本社会福祉士会 委員等関係】

常任理事：小嶋和宏、理事：平田美智子

代議員：高島さち子、山崎智美、菅野清、菅野善也、成田すみれ、吉田勝利、山下康、小島操子

委員会：国際委員会・平田美智子、秋山智久、綱紀委員会・中西一郎、成年後見委員会・齋藤憲磁、西原留美子、障害者虐待防止・権利養護指導者養成研修検討委員会・鈴木敏彦、牧野賢一、地域包括支援ケア推進委員会・高山由美子、中澤伸、「自殺予防」対策検討作業委員会・小嶋和宏、基礎課程整備委員会・山崎智美

【市町村・他団体委員等】(2012年度推薦分のみ) 神奈川県社会福祉審議会委員：山下康

横浜市介護保険運営協議会委員：成田すみれ

川崎市介護保険運営協議会委員：平山みちる

川崎市幸区地域包括支援センター運営協議会：斉藤優子

川崎市麻生区地域包括支援センター運営協議会：大埜嵩

川崎市宮前区地域包括支援センター運営協議会：増田唯子

横須賀市社会福祉協議会・市民後見人推進会議委員：佐々木美保子

逗子市介護保険認定審査会委員：土田郁美

平塚市・障害者自立支援法審査委員：湯川智子

秦野市介護認定審査会委員：三浦美穂子

大井町地域包括支援センター運営協議会委員：西山高昭

海老名市社会福祉協議会地域福祉権利擁護事業審査会委員：神田有紀子

相模原市の地域包括支援センター運営協議会委員：稲葉智枝子

伊勢原市介護保険運営協議会委員：永野正之

開成町高齢者保健福祉事業運営協議会委員：内田ミサヲ

清川村社協日常生活自立支援事業審査会委員：：那須三郎

社会福祉法人たすけあいゆいオンブズマン：石井雅子、吉田廸矩

NPO 法人神奈川県介護支援専門員協会 地域連携委員会地域包括部会委員：佐藤雅美

(2) 他団体・社会福祉士養成校との連携

<他団体式典等>

主に正副会長が下記式典等に出席

入学式・卒業式(鶴嶺学園、神奈川県立保健福祉大学)

総会・記念式典(神奈川県医療社会事業協会、神奈川県精神保健福祉士協会、神奈川県介護福祉士会設立20周年・公益社団法人移行記念式典)

賀詞交歓会(神奈川県社会福祉協議会、神奈川県司法書士会、神奈川県行政書士会、東京税理士会、神奈川県看護協会、ソーシャルケアサービス従事者研究協議会、)

(3) 理事・監事・相談役の現況

会 長 山下康

副 会 長 小島操子、吉田勝利、山崎智美

理 事 佐藤雅美、内藤美幸、西山元弘、平岡祐二、山影彰大、菅野善也、尾形淳子、栗林正彦、中西一郎、石橋正道、昆拓也、瀬戸知樹

監 事 齊藤学、江原伸弘

相 談 役 本多 洋実

.....

<職員状況 2013年3月末現在>

<事務局>事務局長：菅野美和子、常勤職員：鷲見美貴子、権利擁護事業専門員：吉田 綾

非常勤：金子愛、杉山弓月、石井美智子

<神奈川県地域生活定着支援センター>

センター長：中西一郎、主任相談員：中山強、相談員：岡部眞貴子、田村容子、若林泰子

<生活困窮者支援事業 @HOUSE やどりぎ>

主任相談員：降旗聡、非常勤職員：西川久江、佐藤一帥

<県内避難者支援事業> (単年度事業)

統括管理者：東谷隆介、業務管理者：福田麻奈美、庶務：長谷川悦子

専門員・訪問員：(緊急雇用創出事業にて雇用) 計 23 名